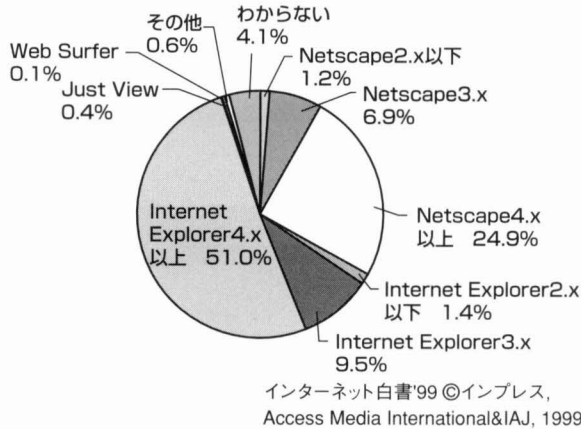


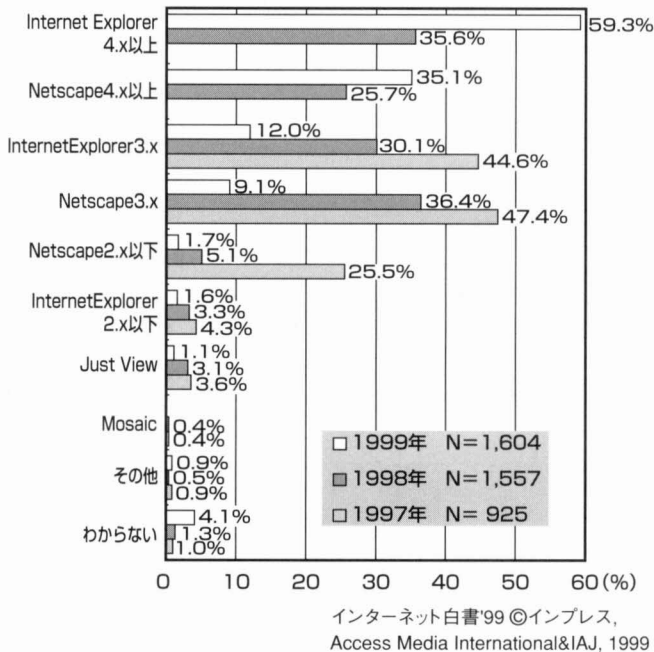
Internet Explorerのシェア拡大

利用ブラウザ、利用アプリケーションソフト

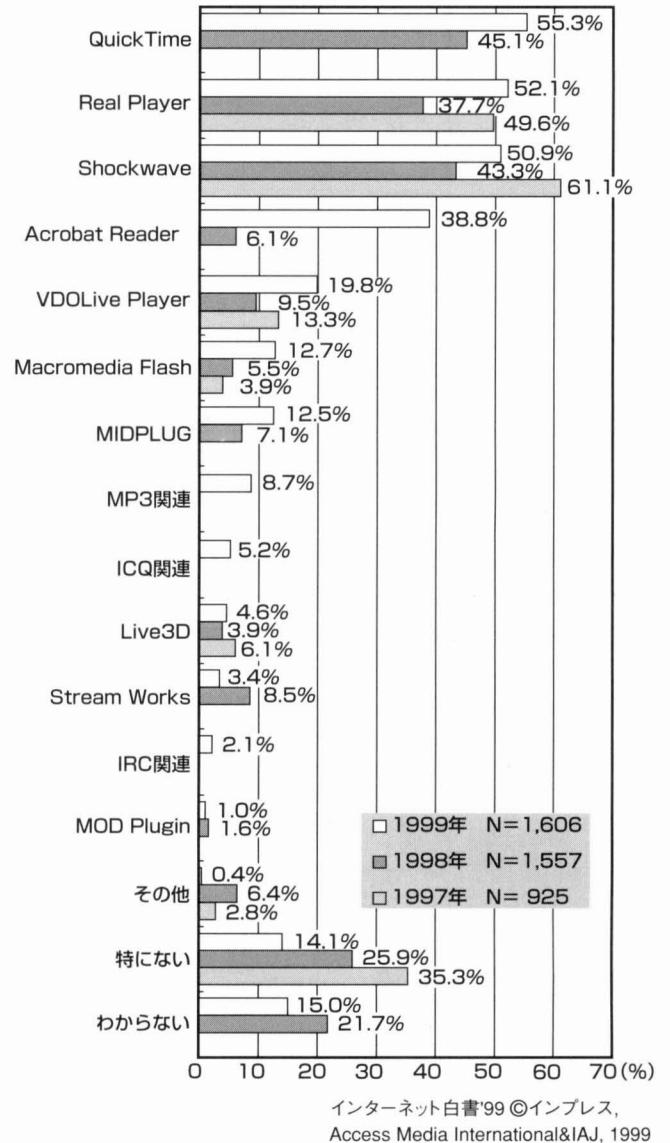
資料1-2-17 主な利用ブラウザ N=1,604



資料1-2-18 利用ブラウザ (複数回答、1997年-1999年)



資料1-2-19 利用中のプラグイン、アプリケーションソフト (1997年-1999年)



解説

利用しているブラウザの中で、主に利用しているものを取って1つだけ選択してもらった。今回の調査では全体の半数以上がMicrosoftの「Internet Explorer 4.x以上」(51.0%)と回答しており、2番目に多い「Netscape 4.x以上」(24.9%)の倍以上となった。実際に利用されている実態を見るために、利用しているすべてのブラウザを複数回答でも聞いている。その結果、ここでも「Internet Explorer 4.x以上」が59.3%と「Netscape 4.x以上」の35.1%を大きく上回っている。今年もここ数年同様「Internet Explorer」と「Netscape」の2製品が市場を二分している状況は変わっていない。

しかし、この結果を時系列で比較すると、「Internet Explorer」は4.xの登場以降もこれまで同様に利用者を獲得しているが、「Netscape」では昨年最も多くが利用していた「Netscape 3.x」から「Netscape 4.x以上」への移行の段階でやや利用者を失っているといえる。利用しているプラグインソフトやアプリケーションソフトについては、毎年かなりの数の新製品が登場することもあり、年次で設問の選択項目に追加や変更もある。その中ではこれまでと比較して「特になし」が減少しており、プラグインなどの利用率は順調に増加しているといえる。利用者全体では1

人当たり平均約3種類のプラグインソフトウェアを利用していることになる。最も多いのは「Quick Time」の55.3%、次いで「Real Player」(52.1%)、「Shockwave」(50.9%)と続く。また「Acrobat Reader」は前年の6.1%から38.8%と急増して4位となった。他には専用プレーヤーも出た話題の「MP3」も8位に挙げられており8.7%がすでに利用している。
(矢野さよみ
アクセスメディア インターナショナル株式会社)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp